

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.5
Q1 室内環境							0.40		-	2.7
1 音環境						3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 室内騒音レベル				—		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						3.6	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				開口部遮音性能:T-2以上。		5.0	0.30	-	-	
2 界壁遮音性能				—		3.0	0.30	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				—		3.0	0.20	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				—		3.0	0.20	-	-	
1.3 吸音				—		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						2.0	0.35	-	-	2.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	-	-	
1 室温				—		3.0	0.60	-	-	
2 外皮性能				—		3.0	0.40	-	-	
3 ゾーン別制御性				—			-	-	-	
2.2 湿度制御				—		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				—		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						2.5	0.25	-	-	
3.1 昼光利用						2.4	0.30	-	-	
1 昼光率				—		2.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				—			-	-	-	
3 昼光利用設備				—		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	-	-	
1 昼光制御				—		2.0	1.00	-	-	
3.3 照度				—		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				—		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.9	0.25	-	-	3.9
4.1 発生源対策						4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質				JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。		4.0	1.00	-	-	
4.2 換気						3.0	0.30	-	-	
1 換気量				—		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能				自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。		5.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				—		1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				—		-	-	-	-	
2 喫煙の制御				健康増進法により建物内は完全禁煙。		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						—	0.30	-	-	2.7
1 機能性						2.2	0.40	-	-	2.2
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				—			-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				—			-	-	-	
3 バリアフリー計画				—		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観				—		1.0	0.50	-	-	
2 リフレッシュスペース				—			-	-	-	
3 内装計画				—		1.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理						2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				—		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				—		2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				—		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				—		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						2.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				—		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				—		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				—		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				ガルバリウムダクトを使用している。		4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				—		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				—		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				—		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				—		1.0	0.20	-	-	
3 電気設備				—		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				—		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				—		2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.2	0.30	-	-	3.2
	3.1 空間のゆとり			2.8	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	—	2.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	0.1≦[壁長さ比率] <0.3	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		床荷重: 2900N/㎡	4.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	2.0
1	生物環境の保全と創出		—	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.1
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.2
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.59	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		—	2.7	0.50	-	-	2.7
	集合住宅以外の評価			2.7	1.00	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.9
1	水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水		—	1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
	2.1 材料使用量の削減		—	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		—	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.1
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率81%	3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止		—	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		－	○	○	－	－	○	－	－	－	○	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	3.0		－	－	－	－	○	○	－	－	－	○	－	－	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		－	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		－	－	2.0	1.0	1.0	－	－	－	－	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		－	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		－	－	－	－	－	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0		－	1.0	－	2.0	－	－	1.0	－	－				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0		1.0	－	3.0	－	2.0	－	1.0	1.0	－	－			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	－	1.0	－	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		－	1.0	－	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		－	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	－	窓の日射熱取得率(η)	－
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	－
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	－
η AC	－	η AH	－
屋光率	－		
自然換気有効開口面積率	7.6%		

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	－	/人	病床	－	/床	シングル	－	ツイン	－
--------	---	----	----	---	----	------	---	-----	---

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	－	VA/m ²
---------	---	-------------------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	－	m
-----	---	---

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	－	レストスペース	－
------------	---	---------	---

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	－	年
--------	---	---

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

3.1.1 階高のゆとり

階高	－	m
----	---	---

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	25.0%	
-------	-------	--

3.2 荷重のゆとり

床荷重	2900 N/m ²	
-----	-----------------------	--

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	37%	建物緑化指数	12%
--------	-----	--------	-----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	48%	水平投影面積率	8%	地表面対策面積率	22%	舗装面積率	38%
-----	-----	---------	----	----------	-----	-------	-----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.59	断熱等性能等級	対象外 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	－	採光を満たす住戸数	－
--------------	----------------------	-----------	---	-----------	---

通風を満たす教室数	－	通風を満たす住戸数	－
-----------	---	-----------	---

太陽光	10.7kW	太陽熱等	－	蓄電池	－
-----	--------	------	---	-----	---

BEI/BEI _m	再エネ有	0.65	無	0.71	オフサイト再エネ有	－	－
----------------------	------	------	---	------	-----------	---	---

一次エネ削減率	再エネ有	無				－	
---------	------	---	--	--	--	---	--

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	－						
-------	---	--	--	--	--	--	--

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	－
------	---

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	－	地球温暖化係数(GWP)	－
---------------	---	--------------	---

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3
---------------	---	--------------	---

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	－	地球温暖化係数(GWP)	－
---------------	---	--------------	---

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	32%	隣棟間隔指標R _w	0.13
-------	-----	----------------------	------

地表面対策面積率	35.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	9.0%
----------	-------	----------	------	----------	------

見付面積S _b	289m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	68.03 m	基準高さH _b	13.2 m
--------------------	-------------------	------------------------------	---------	--------------------	--------

緑地	384m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²	再帰性反射対策面	m ²
----	-------------------	----	----------------	--------	----------------	--------	----------------	----------	----------------